

2022、3月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和4年3月1日

Nhan hieu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン



校長 明石清二

中学部登校の様子

2月14日から中学部生徒の登校を始めました。

登校初日の生徒の表情や仕草には、久しぶりの登校に対して本当に待ちこがれていたという期待感があふれ、明るさも感じられました。

正面玄関で気持ちよく挨拶をし、消毒と検温を済ませ友達と教室に向かう楽しげな姿には、生徒一人一人がもつ心の豊かささえ感じられる光景でした。

教室では、久しぶりに再開した級友と会話を楽しみ、授業が始まると、より多くのことを吸収しようと真摯な態度で授業を受けていたのが印象的です。生徒の多くは、「対面の3時間授業はあっという間だった」「対面授業はテンションが上がる」など、前向きで率直な感想を話していました。

今後も午前中3時間の貴重な時間を有意義に過ごすことができるよう、支援してまいります。

反面、小学部の児童を登校させることができず、ふびんに感じます。今般の市内及び本校の感染状況を鑑みますと、人民委員会の指示は妥当と感じられるところではあります。しかし、その中であっても登校再開の道を引き続き探ってまいります。

JAL 主催世界子どもハイクコンテスト

第17回世界子どもハイクコンテストには、日本国内の学校及び世界の日本人学校から2169作品の応募があり、本校からは2名の大賞、7名の入賞がありました。おめでとうございます。

桃の節句

3月3日は、桃の節句。華やかな装いが感じられる節句であり、春の到来を強く感じる節句でもあります。

雛祭りの由来をみますと、中国では身を清める習慣があり、それが平安時代に日本に伝わり、草木、紙やわらで作った素朴な人形に自分の厄災を移し、海や川に流しておはらいをする「流し雛」の習慣となったそうです。その後、貴族階級の子女の間で始まった「ひいな遊び」といわれる人形遊びと「流し雛」が重なり「雛祭り」の原型となったとも。桃は魔除けの効果をもつと信じられ、子供に災いが降りかからないようにという家族の願いや人生の幸福が得られるようにという気持ちを込めて、雛人形を飾るようになりました。

本校つながりホールにも雛人形を飾りました。

日本御在住の伊藤豊吉様、多美子様御夫妻の御寄付で、本校開校25周年を記念し日本より御送付いただきました。伊藤様御夫妻は、ダナン市美術館にベトナム絵画を200点以上寄付しておられ、昨年末には日越文化貢献者としてベトナム外務大臣表彰を受けていらっしゃいます。

本校子供たちの豊かな情操を育むための御厚意に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

写真は日本にて Vu Hong Nam 駐日ベトナム大使からの表彰の受け渡しに臨まれたときのものです。伊藤豊吉様は、30年以上前からベトナムを仕事で行き来され、現在では、収集した絵画などの寄贈や寄託などを通して慈善活動を行われています。



令夫人 伊藤様